

# 宇都宮工場

## 1.事業概要

<b>住所</b>	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 22-2
<b>従業員数</b>	468名 (H26(2014).4.1現在)
<b>敷地面積</b>	16,216㎡
<b>操業</b>	1969年5月
<b>事業内容</b>	当工場は、当社で国内唯一のコンバイン・乗用田植機という作業機の製造をしている工場です。 これら製品は季節性を特徴としており、工場ではお客様が必要なときに、必要なものを必要なだけ出荷できるモノ作り、すなわち年間を通じ量変動をさせる生産体制をとっております。



## 主要製品



- ・コンバイン
- ・田植機
- 等



## 宇都宮工場

### 2.環境方針

#### ISO環境方針

##### 理 念

私たちは「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

##### 方 針

宇都宮工場は、農業機械及び周辺機器の製造のあらゆるプロセスにおいて環境マネジメントシステムを確立・維持することにより、地球環境の保全に配慮した企業活動を実施いたします。

##### 具体的推進案

1. 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産及びサービスの各段階において、汚染の予防に努めます。また、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 国、地方自治体等の環境関連法・条例規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても自主管理基準を設定し、維持することに努めます。
3. 環境負荷を低減するために、技術的、経済的に可能な範囲で達成すべき目的・目標を定め、確実に実施するための環境マネジメントプログラムを明確にします。また、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うように努めます。
4. 環境管理活動の重要性を全従業員（従業員、協力会社社員、派遣社員、請負者含む）に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
5. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人が求めに応じて入手可能なものとしします。

2013年 4月1日  
株式会社クボタ 宇都宮工場  
工場長 南 龍一

#### ISO認証取得状況

ISO14001認証を2000年12月に取得しました。そして2012年12月には4度目の更新審査をクリアし、6カ月ごとの外部サーベイランスと年2回の内部監査を実施して、環境マネジメントシステムの適切性を評価しています。

内部監査員は監査員教育を受けたメンバーで構成し、相互監査を通じて環境保全のレベルアップに取り組んでいます。

- 2000年12月 ISO14001認証取得
- 2005年 6月 2004年度版移行審査受審
- 2006年12月 第2回更新審査終了
- 2009年12月 第3回更新審査終了
- 2012年12月 第4回更新審査終了

# 宇都宮工場

## 3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度	2013年度	
					実績	自己評価 ※4,5
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位※2	2008	▲14%	▲33.1%	○
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲14%	▲37.1%	◎
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲14%	3.30%	△
		再資源化率※3	-	99.5%以上	98.8%	△
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲21%	▲62.6%	◎
化学物質の管理	VOC※1の削減	VOC排出原単位	2008	▲21%	53.90%	△

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。

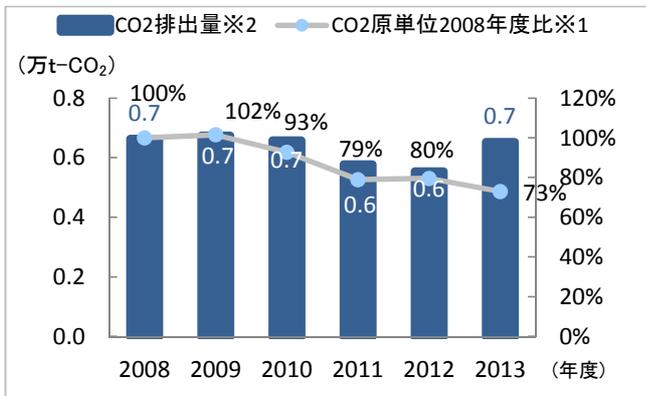
※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100  
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

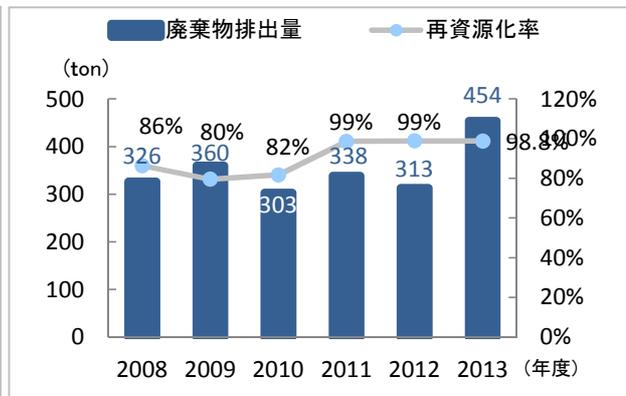
※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

## 4.環境パフォーマンス

### ①地球温暖化の防止



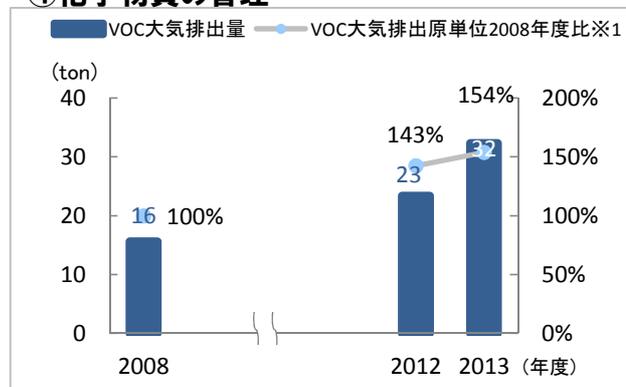
### ②循環型社会の形成(廃棄物)



### ③循環型社会の形成(水)



### ④化学物質の管理



※1 原単位2008年度比:2008年度の内作生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

# 宇都宮工場

## 4.環境パフォーマンス(つづき)

### PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2013年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
1	亜鉛の水溶性化合物	0.0	8.4	0.0	0.0	0.0	440
53	エチルベンゼン	12797.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4989.0
80	キシレン	17,956	0.0	0.0	0.0	0.0	7000.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	361	0.0	0.0	0.0	0.0	141.0
300	トルエン	1208.0	0.0	0.0	0.0	0.0	471.0
302	ナフタレン	2031	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
392	N-ヘキサン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

## 5.環境トピックス

### 高効率モジュールチラー導入(空調設備)

2014年度設備投資、高効率モジュールチラー(COP3.5以上の高効率)による冷暖房運転に変更し、併せて冷却水循環ポンプや空調用変電所には省エネトランナー機器を採用・導入しました。

効果 ■エネルギー削減量

▲年間効果 : CO2削減量: 675t-CO2/年 旧空調と比較しCO2を74%削減

高効率モジュールチラー

冷却水循環ポンプ

プレミアムモトル

空調用変電所

アモルファストランス



## 6.環境コミュニケーション

当社の企業活動は顧客および地域住民の協力なくして成り立たないと認識し、下記活動などを通じて地域との融和に努めています。

インターンシップ受入(2013年7月)

宇都宮工業団地 環境委員会活動(通年)

工業団地ごみクリーン作戦(地域清掃活動)への参画(2013年11月)

クボタe-デーとしてジャパンカップサイクルロードレース清掃活動を実施(2013年10月)

2カ月毎に工場外周道路の清掃活動を実施(2013年4月～)



## 宇都宮工場

## 7. サイトデータ

## INPUT

※製品に充てんした燃料も集計対象に加えています。

エネルギー使用量	原油換算 KL	3,034
水使用量	万m <sup>3</sup>	11.5

## OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	6,517
---------------------	-------------------	-------

(電気の排出係数 5.25t-CO<sub>2</sub>/万kWh)

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制 ともにm <sup>3</sup> N/h		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	総量規制:m <sup>3</sup> N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	150.00	44
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N		濃度規制	0.1	0.001

排水量	公共用水域 万m <sup>3</sup>	20.3	
	下水道 万m <sup>3</sup>	-	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

排水	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	7.0, 7.5
		BOD	mg/l	25	15.7
		COD	mg/l	-	-
		窒素	mg/l	-	-
		りん	mg/l	-	-
		六価クロム	mg/l	-	-
		鉛	mg/l	-	-
		COD総量規制値	kg/日	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/l			-	-
COD	mg/l			-	-
SS	mg/l			-	-

廃棄物排出量	t	454
再資源化率	%	98.8%